平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月27日

上場会社名　株式会社 藤商事　　上場取引所　大
コード番号　6257　URL　http://www.fujimarukun.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松元　邦夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長　(氏名) 當仲　信秀　TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日　平成24年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,222	45.2	4,768	78.9	4,804	79.4	1,994	64.0
24年3月期第1四半期	12,553	178.7	2,665	―	2,677	―	1,215	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8,010.05	―
24年3月期第1四半期	4,884.37	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	61,123	45,192	73.9
24年3月期	56,958	43,797	76.9

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　45,192百万円　24年3月期　43,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	2,250.00	―	2,250.00	4,500.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		2,500.00	―	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,300	19.3	3,700	△16.7	3,700	△17.6	2,200	△17.4	8,836.94
通期	49,200	14.3	7,600	4.2	7,600	3.7	4,600	12.5	18,477.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料3ページの「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	254,955 株	24年3月期	254,955 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	6,000 株	24年3月期	6,000 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	248,955 株	24年3月期1Q	248,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「1．当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は平成24年7月27日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（1）経営成績に関する定性的情報 …… ２
（2）財政状態に関する定性的情報 …… ２
（3）業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… ３
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ３
３．四半期財務諸表 …… ４
（1）四半期貸借対照表 …… ４
（2）四半期損益計算書 …… ６
第１四半期累計期間 …… ６
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… ７
（4）継続企業の前提に関する注記 …… ８
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… ８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第１四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、緩やかな回復傾向にあるものの、欧州の財政不安などを背景とした海外経済の減速懸念や円高が長期化するなど、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、消費者のレジャーなどに対する節約志向が継続し、パチンコホール全体の経営環境は厳しい状況にあります。パチンコ遊技機では、１円パチンコに代表される低貸玉営業での遊技機の設置比率が上昇するとともに、従来からの営業形態での集客や稼働が伸び悩みをみせており、収益面では厳しい状況が続いております。このため、遊技機の購入につきましても慎重な姿勢により、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として、稼働および収益面は順調に推移しております。

このような状況のもと当社は、パチンコファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、新規性や独自性の追求などによる商品力の向上とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。また、麻雀漫画をモチーフにしたパチンコ、パチスロ遊技機を同時発売するなど新たな販売戦略も展開いたしました。

パチンコ遊技機につきましては、新本体枠「シャイニングウォール」の第１弾機種を市場投入したほか、著名版権とのタイアップ機種を発売いたしました。また、前事業年度に好評を博したホラージャンルのシリーズ機種を追加発売し、各機種の販売活動は順調に推移いたしました。

パチスロ遊技機につきましては、１機種を市場投入いたしました。

この結果、当第１四半期の業績につきましては、売上高182億22百万円（対前年同期比45.2%増）、営業利益47億68百万円（同78.9%増）、経常利益48億４百万円（同79.4%増）、四半期純利益19億94百万円（同64.0%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「ＣＲデビルマンレディー」（平成24年４月発売）、新本体枠採用機種「ＣＲ哭きの竜　天運」シリーズ（平成24年５月発売）を市場投入したほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプ（「ＣＲ地獄少女」、「ＣＲリング　呪いの７日間」）を追加発売いたしました。

以上の結果、販売台数は54千台（対前年同期比34.3%増）、売上高178億35百万円（同42.1%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、「パチスロ天　天和通りの快男児」（平成24年５月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は１千台、売上高３億87百万円（前年同期は０百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ41億65百万円増加し、611億23百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が68億57百万円、商品及び製品が10億17百万円、原材料及び貯蔵品が８億81百万円増加したことなどに対し、現金及び預金が44億47百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ27億70百万円増加し、159億31百万円となりました。

これは主に、買掛金が38億43百万円増加したことなどに対し、未払法人税等が14億66百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ13億94百万円増加し、451億92百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ44億47百万円減少し242億92百万円となりました。

当第１四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、26億99百万円（前年同期は11億95百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益39億53百万円、仕入債務の増加額41億15百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加額68億57百万円、法人税等の支払額34億14百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12億32百万円（前年同期は２億68百万円の資金の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出８億14百万円、有形固定資産の取得による支出３億86百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、５億16百万円（前年同期は５億15百万円の資金の減少）となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第１四半期の業績は順調に推移しており、現在のところ、平成24年５月11日発表の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,740	24,292
受取手形及び売掛金	5,701	12,558
有価証券	1,492	1,580
商品及び製品	27	1,045
原材料及び貯蔵品	3,225	4,106
前渡金	3,381	3,260
繰延税金資産	1,830	1,896
その他	144	182
貸倒引当金	△8	△18
流動資産合計	44,534	48,903
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,076	1,742
機械及び装置（純額）	406	373
工具、器具及び備品（純額）	955	862
土地	3,778	3,231
その他（純額）	53	51
有形固定資産合計	7,270	6,262
無形固定資産	179	201
投資その他の資産		
長期前払費用	1,950	2,088
その他	3,302	3,947
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	4,973	5,756
固定資産合計	12,423	12,219
資産合計	56,958	61,123

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,344	9,188
未払法人税等	3,482	2,015
未払消費税等	589	205
賞与引当金	480	246
役員賞与引当金	180	―
その他	1,630	2,821
流動負債合計	11,707	14,476
固定負債		
退職給付引当金	768	773
その他	684	680
固定負債合計	1,453	1,454
負債合計	13,160	15,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	37,630	39,064
自己株式	△486	△486
株主資本合計	43,683	45,117
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114	74
評価・換算差額等合計	114	74
純資産合計	43,797	45,192
負債純資産合計	56,958	61,123

(2) 四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	12,553	18,222
売上原価	6,308	9,376
売上総利益	6,245	8,846
販売費及び一般管理費	3,579	4,078
営業利益	2,665	4,768
営業外収益		
受取配当金	4	18
受取賃貸料	3	4
利用分量配当金	7	10
受取ロイヤリティー	0	5
還付加算金	6	―
その他	8	6
営業外収益合計	31	46
営業外費用		
シンジケートローン手数料	7	7
賃貸収入原価	5	1
ゴルフ会員権評価損	6	―
その他	0	1
営業外費用合計	20	10
経常利益	2,677	4,804
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	6	―
減損損失	―	850
特別損失合計	6	850
税引前四半期純利益	2,671	3,953
法人税、住民税及び事業税	1,021	1,988
法人税等調整額	433	△29
法人税等合計	1,455	1,959
四半期純利益	1,215	1,994

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,671	3,953
減価償却費	385	321
減損損失	－	850
貸倒引当金の増減額（△は減少）	11	10
賞与引当金の増減額（△は減少）	△118	△233
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△180
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2	5
受取利息及び受取配当金	△7	△23
固定資産売却損益（△は益）	0	0
固定資産除却損	6	－
売上債権の増減額（△は増加）	△4,682	△6,857
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,607	△1,898
未収消費税等の増減額（△は増加）	337	－
長期前払費用の増減額（△は増加）	121	△213
仕入債務の増減額（△は減少）	△238	4,115
未払金の増減額（△は減少）	493	675
未払消費税等の増減額（△は減少）	268	△384
その他	328	542
小計	1,184	683
利息及び配当金の受取額	10	31
法人税等の支払額	△1	△3,414
法人税等の還付額	1	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,195	△2,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△299	－
有価証券の償還による収入	900	－
有形固定資産の取得による支出	△43	△386
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△13	△31
投資有価証券の取得による支出	△811	△814
その他の支出	△1	△1
その他の収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268	△1,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△515	△516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	△516
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	411	△4,447
現金及び現金同等物の期首残高	20,674	28,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,086	24,292

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。